

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和6年10月31日）

1 主な報告等

(1) 令和7年度当初予算概算要求の概要について

委員から、警察基盤の充実強化を図るため、デジタル基盤の整備は大変重要である。サイバー空間における対処能力の強化を図る上でも、AI活用によるサイバーパトロールは良い事業である。また、限られた警察予算を最大限活用し、各種警察事業を推進していただきたい旨の発言があった。

(2) 警察音楽隊と連携した少年の居場所づくりについて

委員から、今回、参加した少年達が、少年補導員等と一緒にあった楽器演奏体験を通して地域社会のコミュニティの一員であることを実感し、立ち直りにつながることを期待する。今後も様々な形で少年の居場所づくり等の取組を継続し、少年達が立ち直るきっかけとなるような機会を多く開催していただきたい旨の発言があった。

(3) 石垣市宮良における女性殺人事件被疑者の検挙について

委員から、この種事件については、警察への相談取扱い等の段階では、個々の事案毎に関係者の安全確保のための対応が異なることが説明を受けて分かった。関係者の保護対策を最優先に早期に危険性を判断し、適切な人身安全関連事案の対応に努めていただきたい旨の発言があった。

(4) 令和6年秋の全国交通安全運動の実施結果について

委員から、各警察署ごとに、その地域の交通情勢に応じた取組や地域住民と連携した取組が実施されたことを評価する。沖縄県の課題の一つである飲酒運転の現状を広く県民に周知するため、各種広報媒体を活用した効果的な情報発信について検討していただきたい旨の発言があった。

(5) 第50回衆議院議員総選挙に伴う警護警備実施結果について

委員から、選挙に伴う警護警備の難しさについて説明を受けてよく分かった。今回、多数の警護対象者が来県したが、綿密な警備計画を策定した上、装備資機材の有効活用により、特異事案の発生もなく警護警備を終えたことを評価する旨の発言があった。

(6) その他

警察本部から、警察費の予算要求については、真に必要な業務をきちんと見極め、合理的かつ効率的な予算要求、獲得に努めてまいりたい旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会あて苦情の調査結果について
 - ・ 公安委員会あて苦情の受理について
 - ・ 公安委員会あて意見要望について
 - ・ 特例施設占有者への指定について
 - ・ 沖縄県警察柔道・剣道大会の開催について
 - ・ 裁決書の決裁について
 - ・ 監察関係報告について
 - ・ 令和6年度沖縄県功労者表彰について
 - ・ 令和6年秋の勲章伝達式の挙行について
- (2) 生活安全部
- ・ 銃砲所持者の行政処分（許可取消）について
- (3) 交通部
- ・ 自動車運転免許の行政処分について
 - ・ 手数料条例の改正について
- (4) 警備部
- ・ 警察職員の援助要求について